



夏休み体験入学アンケートより

今年も60名の児童生徒が日本への一時帰国に際し、日本の学校への体験入学・一時入学をしました。それぞれ貴重な体験をしたようです。

<L I 校中等部 1 年>

そんなに難しくなかった。数学は簡単だったけど、他の教科が難しかった。体育が楽しかったが、制服がいやだった。

<W 校初等部 2 年>

学校での勉強は難しかったです。プールが楽しかったです。

<W 校初等部 2 年>

校舎内のルールを覚えるのがたいへんだった。体育の時間に着替えるのが恥ずかしかった。

<W 校初等部 5 年>

算数は簡単でしたが、国語と理科は難しかった。教室のみんながとても親切にしてくれたので、2日ぐらいで学校生活に慣れました。

<L I 校初等部 6 年>

補習校と同じ教科書だったのでスムーズに適應できた。ただし、社会と理科は難しかった。テストが多かった。中学校にも行ってみたいと思った。

<W 校初等部 5 年>

国語・算数もほぼ補習校と同じところをやっていたので、分かりやすかった。休み時間にドッジボールやサッカーをしたのが楽しかった。

<W 校中等部 6 年>

国語と数学は補習校の方が進んでいたもので、問題なく行って行けた。数学は進み方がゆっくりだったので、分かりやすかった。理科では、唾液の実験をしました。友達と1年ぶりに話すことができて楽しかったです。

<L I 校初等部 1 年>

授業は問題なかったけど、初日に集団登校の光景にびっくりして、慣れるまで心配でした。

<W 校初等部 1 年>

アメリカの現地校にはない給食当番や掃除などが楽しかった。

<L I 校初等部 3 年>

初めて理科の授業を受けて楽しかった。モンシロチョウの一生という単元でした。

<L I 校中等部 2 年>

皆優しく接してくれ、お互いに日本とアメリカのことを教え合っていた。プールや技術家庭科の授業が興味深かった。毎日部活に行って家に帰るのが遅くなるのがつらかったけど、そのうちになれて楽しかった。



<保護者からの感想など>

- ・米国では経験できないことがたくさん身に付いたので(礼儀、協調性、日本語等)、本人が望めば毎年行かせてやりたい。
- ・短期間でしたが、1学期末ということもあり、通知表の所見欄にコメントが書いてあり、とても嬉しかったです。

★ご存じのとおり、体験入学の時期(特に7月)は日本の学校では1学期のまとめの時期に当たり、テストや学級・学年活動などが入ってくるので、授業が少ないこともあります。また、市役所に住民登録すること、保険(日本スポーツ保険)の加入など、学校や市町村ごとに受け入れのシステムが異なりますので、体験入学を考えておられる場合は、早めに連絡を取り合うことをお勧めします。

L I 校日本文化伝承行事～落語

L I 校恒例の日本文化伝承行事は、柳家東三樓師匠の落語鑑賞を行いました。江川保護者会長さんの紹介の後、入浴家♯さんのジャズ寿限無を聞きました。その後、二人の児童が覚えてきた寿限無を見事に披露し、喝采を浴びました。

東三樓師匠は、はじめに落語で用いる扇子と手ぬぐいの役割を分かりやすく説明され、続いて「The Monkey(猿の小唄)」、「寿限無」、「初天神」の三つの演目をされました。師匠の熱演に子どもたちは、すっかり笑いの世界に入り込んでいました。

終わりには、師匠の指導のもと、みんなでそばをすすったり、まんじゅうを割って食べたりする演技で盛り上がりました。

ニューヨークという異国の地でも、落語に接することで、日本語や日本の文化に少しでも興味関心を持ってもらえればうれしいです。



扇子を使ってそばをすすっています。